

# 京都大学 学術研究支援室 (KURA)の紹介

@紀要編集者ネットワーク  
キックオフセミナー  
『紀要』の可能性  
2017/03/24

# KURAとは？

<https://www.kura.kyoto-u.ac.jp/support/>

# KURAのミッション

## より良い研究環境の構築に向けて

- 外部資金獲得の支援
- 産官学連携本部との連携による活動支援
- 研究支援の世界的視野での展開
- 研究力分析手法（IR）の開発と活用
- 研究環境改善に向けた企画立案
- 研究活動の社会還元に向けた双方向コミュニケーションのデザイン
- URAの知識・技術の高度化の推進

# URAによる具体的取組例(1)

## ● 外部研究資金獲得と研究運営支援

### － 公募情報の収集・周知

- 研究者に向けて周知・個別案内を発信
- 学内説明会を開催

### － 申請支援＋申請書作成の支援

- 研究プランの提案・相談
- 申請書作成のブラッシュアップ（添削・計算チェック、図表作成等）

### － 成果発信・公開の支援

- シンポジウムや国際会議の開催支援
- 成果の公開・広報支援



本会に関連する事例1↓

# 事例1

## 経験に基づいたノウハウをもとに、研究資金獲得のための申請書の作成を支援します

- テニヲハ、誤字脱字のチェック
- 計算書のチェック
- 図表作成支援
- 申請書内の一貫性の確認
- 修正案・文言の提案



## 可読性の向上

様式S-1-8□応募内容ファイル（添付ファイル項目）

基本情報（一般）

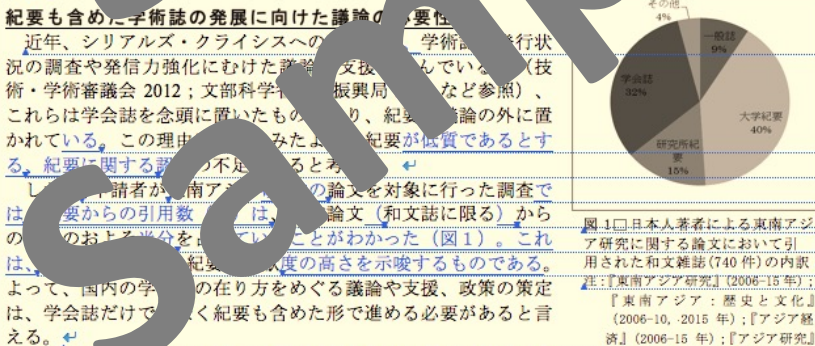
### 研究目的

本稿には、研究の全体構想及びその中で本研究の具体的な目的について、冒頭にその概要を述べ、また、適宜文献を引用しつつ記述し、特に次の点については、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述した上で、「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」（公募要領81頁参照）①□研究の学術的背景（本研究に関連する国内・国外の研究動向及び経緯、応募者自身これまでの研究成果を踏まえ着想に至った経緯、これまでの研究成果を進展させる場合にはその内容等）②□研究期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、③□当該分野における本研究の学術的特色・独創的な点及び予想される意義。

### 研究目的（概要）※当該研究計画の目的を簡潔に述べ、

商学誌の寡占によるシリアルズ・クライシスへの対応が深刻化している。現状を打開するため、学術誌の発行状況の調査や発信力強化に向けた取組が各所で盛んに行われているが、これらは基本的に学会誌を念頭に置いたものであり、紀要以外の論文の掲載は、紀要の質への懸念があると思われる。しかし、最近では機関外部からの論文の受付や査読、オープンアクセスなどを充実させた学会誌や、特色のない紀要も増え、上質な論文への懸念は現状認識の不足から今後、学術誌に関する議論や支援策の必要も生じようとしている。本研究では、学術誌の議論や支援策の転換を図るべく、重要な研究動向を調査し、また、刊行現場で集現場で要望をまとめ紀要の発展に向けた検討を行う。研究の学術的背景（足らぬ）に関する研究（不足）

近年、シリアルズ・クライシスへの対応が深刻化している。現状を打開するため、学術誌の発行状況の調査や発信力強化に向けた取組が各所で盛んに行われているが、これらは基本的に学会誌を念頭に置いたものであり、紀要以外の論文の掲載は、紀要の質への懸念があると思われる。しかし、最近では機関外部からの論文の受付や査読、オープンアクセスなどを充実させた学会誌や、特色のない紀要も増え、上質な論文への懸念は現状認識の不足から今後、学術誌に関する議論や支援策の必要も生じようとしている。本研究では、学術誌の議論や支援策の転換を図るべく、重要な研究動向を調査し、また、刊行現場で集現場で要望をまとめ紀要の発展に向けた検討を行う。研究の学術的背景（足らぬ）に関する研究（不足）



\*地域研究の分野では実際には自然・社会科学的研究も行われるが、一般には人文社会科学研究に位置付けられる。

- 削除：近年、
- 削除：業出版社の
- 削除：による…学誌の寡占によるが進
- 削除：。
- 削除：その打開のため…学誌の発行状
- 削除：は
- 削除：が…んに行われているが、これ
- 削除：が、
- 削除：と思われる。しかし…近では機
- 削除：発行機関外部からの論文の収録
- 削除：内容的に
- 削除：学会誌に遜色しない紀要も増え
- 削除：との区別が難しいものも増えおり、
- 削除：紀要に対する
- 削除：今後こうした
- 削除：た形で
- 削除：うことが必要と考える…そこで
- 削除：従来の…学誌をめぐる
- 削除：支援のあり方…転換を図るべく
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：一般的に
- 削除：(
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：)
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：など…々な角度から行われている
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：(
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：)に詳しい
- 削除：、
- 削除：このうち
- 削除：は少ない…。国内の紀要に関する
- 削除：、
- 削除：糸賀・関の
- 削除：による
- 削除：(1986)…あるくらいで以降
- 削除：以降は
- 削除：おらず、刊行数や電子化の進捗
- 削除：に限られており、質的な面から
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：紀要に関する研究が進まない背景は
- 書式変更：フォント:Times New Roman
- 削除：では
- 書式変更
- 削除：は
- 書式変更

# URAによる具体的取組例(2)

- 学内ファンド(一部)の運営および運営支援
  - 再配分システム構築
  - 次世代のための研究環境整備の支援

Research support | 研究支援に関するお知らせ

SPIRITS: 平成29年度募集について (学内限定)

2016.11.28 | お知らせ

以下の2つの区分で募集を行います。

1. 融合チーム研究プログラム【国際型】(SPIRITS-International Type)
2. 融合チーム研究プログラム【学際型】(SPIRITS-Interdisciplinary Type)

申請期限: 平成29年1月18日(水) 17:00

\*各部署で個別の締切を設定しています。個別の締切につきましては各部署担当へご確認ください。

### 1. 融合チーム研究プログラム【国際型】(SPIRITS-International Type)

本プログラムでは、海外研究組織・研究者との国際共同研究形成等に向けた新たな取り組みや企画を支援します。本学の研究者を中心に海外機関の研究者等との研究チームを形成し、研究プロジェクトを進行するものとします。

研究チームについては数名程度の比較的小数のチーム構成でも構いませんが、「京都大学の改革と将来構想」(WINDOW)等を踏まえ、本学の研究の国際化に資する取り組みを積極的に支援します。

#### | 支援経費

支援経費は、経費A・Bから構成され、1事業年度あたりの支援額は原則として次のとおりです。採択時には、経費A・Bの合計額を支援します。

\* 支援金額については、審査結果や各年度の予算状況等により変更される可能性があります。

**経費A:** 研究プロジェクトを推進する上で必要となる企画・調整に係る経費。1件あたり300万円を上限

**経費B:** 研究プロジェクトを推進する上で必要となる研究費等。1件あたり経費Aの積算額の80%または200万円のいずれか低い額を上限

#### | 事業期間

原則、平成29年度4月1日から平成31年3月31日までの2年間とします。

京都大学 Kyoto University Academic Service

## 研究支援情報 No.24 Academic Support for Grant Proposals

### 外部資金獲得支援

平成30年度採用分

# 学振申請書の書き方講座

申請書を上手に書くための書き方の講座です。様々な大学で論文発表や研究費を獲得した申請者の方々が、お話をさせていただきます。

日時: 2017年11月21日(水) 19:00~20:00 | 定員: 20名 | 受講料: 2000~3000円

会場: 京大総合学術センター4階404号室

講師: 中野 隆 (京大総合学術センター学術支援課)

内容: 「審査官に伝わりやすい申請書の書き方」を学ぶ。学振申請書の書き方のポイントや、採択される申請書の書き方、採択後の手続きについて定評のあるインストラクターが、様々な事例を交えてお話をします。

申し込み: 2017年11月17日(金)まで | 申し込みURL: <http://www.kyushu.ac.jp/~ura/academic-service/>

主催: 学術研究支援部

URAI | 京都大学学術研究支援部

本会に関連する事例2↓

# 事例2

本会は、学際融合教育研究推進センターの協力のもと  
分野横断プラットフォーム構築事業》として、実現したものです。

## 当日運営支援

## 準備支援

運営ノウハウ提供  
開催広報支援

## 実施案提示

必要経費支援  
招聘手続き代行  
チラシデザイン

**C-PIER**  
学際融合教育研究推進センター

2016 分野横断プラットフォーム構築事業 (研究大学強化促進事業「百家争鳴」プログラム)  
2016年12月20日

### 研究会やワークショップを開催してみませんか?

実施費だけでなくスキルも学べる機会を提供します

学際融合教育研究推進センターと学術研究支援室があなたの挑戦をお手伝いします!  
例えば……「こんな専門分野の人たちと研究会を創って、一緒に研究する仲間を増やしたい!」  
「学際領域について一緒に活動できる人を知りたい!」  
「専門分野以外の人にも研究メンバーに入ってもらいたい!」  
実践ノウハウの提供!必要経費の支援をします。  
(ファシリテーションや盛り上げる議論のコツなど)

最新情報  
2016/07/06 募集開始しました!

※応募条件: 本学教職員、なお代表者が本学教職員であれば、学生、教員、学外(他大学、企業等)の方も募集メンバーとして参加OK  
※応募方法: 応募は「申し込みアイコン」(本ページ中ほどにあります)より応募  
この「申し込みアイコン」をクリックして、説明書で記入できる内容を印刷して、PDFファイルにして制作、応募してください。応募受付、募集、選考(1次選考)を行います。  
※応募期間: 2016年7月5日(水)まで

学際融合教育研究推進センターの  
学内公募事業

紀要編集者ネットワーク キックオフセミナー  
研究者の構想

2017年 3月24日(金) 14-17時  
京都大学 稲盛財団記念館 小会議室II

14:00 趣旨説明  
14:10 講演1 松林公康氏(京都大学)『ヒマラヤ学誌』編集長  
14:30 講演2 立木康介氏(京都大学)『ZINBUN』編集委員長  
14:50 講演3 澤井 勇氏(京都大学)『いのちの未来』編集委員長  
15:10 休憩  
15:20 講演4 藤村 剛氏/川本恵心氏(北海道大学)『科学技術コミュニケーション』編集委員長/副編集委員長  
15:40 講演5 近藤信彰氏/津井万友美氏(東京外国語大学)『アジア・アフリカ言語文化研究』副編集長/編集事務担当  
16:00 講演6 神谷俊郎氏(京都大学学術研究支援室URA)大学によるサポート事例紹介  
16:20 ディスカッション  
17:00 用会の詳  
(※ 17:30 懇談会)

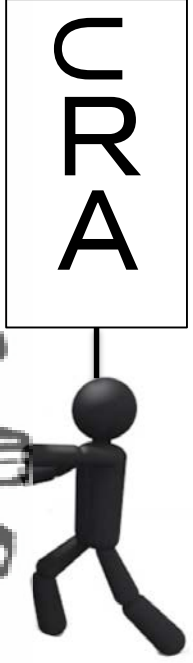
▶詳細・参加申込み \*申込み締切 3月22日  
京都大学学術研究支援室 KU.research「参加できる研究」  
京都大学学際融合教育研究推進センター HP

紀要は、若手研究者や学生が研究成果を公表する重要な場です。  
紀要は、研究者が独自の強い研究成果を世に問う貴重な場です。  
紀要は、結局や有效がその研究スタイルを構築、伝承してゆく場です。  
しかし、大半の学術雑誌はこまめな更新を要する風潮のなかで、紀要はその苦境の場を失いつつあります。  
そうした危機感を一にする半分の研究者・編集委員有志が、昨秋「紀要編集者ネットワーク」を立ち上げました。国内・外の紀要編集者を広く呼び、紀要の意義を再考、その活性化に向け様々な取組みを行うことをめざします。本ネットワークのキックオフセミナーである今回のセミナーでは、国内・外から分野横断的に紀要編集者を招き、各誌の取り組みや課題、必要とするサポート体制などについて語り合います。またディスカッションでは、スピーカーおよび参加者ともに、紀要の可能性について考えます。

主催: 紀要編集者ネットワーク  
(京都大学学術研究支援室 学術研究支援室 設置事業)  
協賛: 京都大学学際融合教育研究推進センター・学術研究支援室  
(分野横断プラットフォーム構築事業「研究大学強化促進事業」百家争鳴プログラム)

# 応募

# 報告



# URAによる具体的取組例(3)

- 部局を超えた共通needs, wantsへの対応・支援・企画
  - － 研究成果の社会に向けた発信
  - － 研究者とその活動の「見える化」



京都大学研究者の活動や成果を京都大学内外へ広く伝えることを目的として、京都大学学術研究支援室が企画・運営するサイト。

本会に関連する事例3↓



# 事例3: 京都大学新刊情報ポータル

本学の研究者の論文以外の研究成果出版物(図書)を可視化することを目的として、京都大学学術研究支援室(KURA)が、京都大学生活協同組合ショップルネ、京都大学学術出版会、京都大学附属図書館、各出版社の協力のもと、企画・運営するサイトです。

京大新刊情報ポータル  
Publications by Kyoto University Researchers

京都大学  
KYOTO UNIVERSITY

ホーム 図書一覧 ブックレビュー ニュース エッセイ このサイトについて

ピックアップ

京大研究者の本

ピックアップニュース

お知らせ  
2017.03.06  
『怪異の政治社会学』の書評をアップしました。

イベント案内  
2017.01.15  
2017年2月9日(木)に誠光社(京都市上京区)にて「戦争と平和を考えるピブリオ・トーク in 京都」が開催されます。京都大学人文科学研究所主催。

受賞のお知らせ  
2016.07.28  
受賞ニュース  
京都大学文学研究科の下垣仁志教授が第29回濱田青陵賞を受賞しました。

# 近日公開!

体系的整理

部局ごと、分野ごと、年度ごとなどのソート機能  
CSVデータ提供機能

フィードバック機能

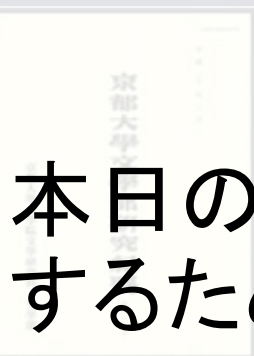
学外ユーザーからのBook Review機能

# 京都大学発行電子ジャーナル

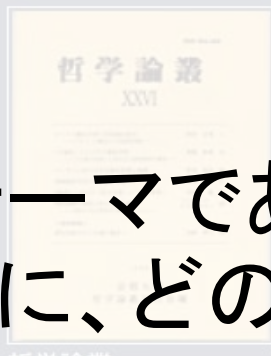
## さて、そこで、、、

powered by KURENAI

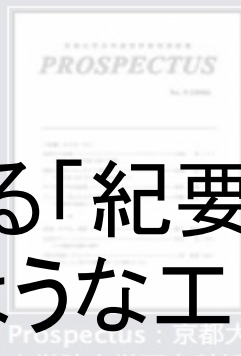
### 文学研究科



京都大学文学部研究紀要



哲学論叢



Prospectus : 京都大学  
大学院文学研究科哲学  
研究室紀要



科学哲学科学史研究



京都大学言語学研究



言語学研究



実践哲学研究



NUII 教育学研究紀要

#### ●各部局電子ジャーナル

- 文学研究科
- 教育学研究科
- 経済学研究科
- 工学研究科
- 医学研究科・医学部・医学部医学科
- 農学研究科・農学部
- 人間・環境学研究科・総合人間学部
- アジア・アフリカ地域研究研究科
- 人間文化研究機構地域研究推進事業「現代インド地域研究」
- 情報学研究科
- 地球環境学堂・地球環境学舎・三才学林
- 公共政策大学院
- デザイン学ユニット
- 生存基盤科学研究ユニット

# 本日のテーマである「紀要」を、よりよく可視化するために、どのような工夫・提案ができるか？



サイト構築のご努力ご尽力は  
重々承知の上で、  
あえて申し上げます

ページが縦に長い

部局誌、学会誌、ゼミ報告書などが混在

継続誌と終了誌が混在

学術誌と広報誌が混在

「投稿したい人」のための情報が整理されて  
いない（投稿規定が見つけない）

分野分類に合わせてページを分割・階層化

していただければいいな・・・

オープンアクセス化の効果をさらに高めれば「可読性」も高まり、各方面からより高い評価を得られるようになる

但し、そのためには紀要編集者と図書館の協力体制の強化が必要（その間を繋ぐのがURA）

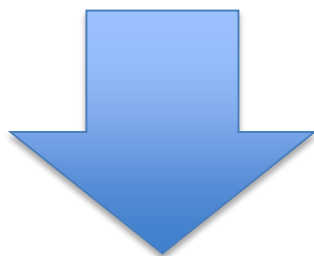
# KURAのミッション より良い研究環境の構築に向けて

提案、支援を行い

組織・人・資金をつなぎ

サイクルを生み出す

ご用命  
承ります！



研究・教育力の強化に資する